

## 懐中電灯ゲーム

たまに、まだ見るための身体的技能を持たないために、目の活性化ができない子どもがいます。その場合、発達の観点から、より単純な活動を行います。

### 懐中電灯ゲーム 手順

完全に暗い部屋で、子どもと向かい合う、または、あなたの膝の上に子どもを座らせる。

1. 懐中電灯を点ける。そうすることで、天井や壁の光に向かって子どもの目が動く。光の点を探すよう、子どもを促す。
2. 懐中電灯を直ちに消す。懐中電灯を他の方向に向け、点灯する。再び、光の点を探すよう、子どもを促す。
3. 子どもの参加能力により、30秒から60秒間、続ける。
4. 子どもが光を見つけられるようになったら、追視のパターンを始める。上下、左右、対角の動き。動きを変える度に懐中電灯を消すこと。
5. 懐中電灯ゲームの最後の段階として、子どもに自分用の懐中電灯を持たせる。そして、壁や天井にあなたが照らす光を、自分の懐中電灯の光で追うように子どもに言う。この時も、動きを変える度に懐中電灯を消すこと。

注記:この段階に到達するまでに3週間位かかるかもしれません。子どもの技能と能力のレベルに従いましょう。

変更案:レーザーは、能力が限られた子ども達にとって、追視の道具としても使うことができます。

